

公益財団法人 米日カウンシル—ジャパン

U.S.-Japan Council (Japan)

2014 年度事業報告
2014 Business Report

I. 概要

公益財団法人米日カウンシル—ジャパン（以下本法人）は、第3年度の事業を終えるに至り、多岐にわたる活発でダイナミックなプログラムを通して、主たる慈善事業における目標を数多く達成し、日本における人と人とのネットワークを一層拡大し、また持続可能な組織基盤を固めることができました。

本法人が企画且つ監督し、協賛パートナーの実施支援を受けた活動を通じて、数百人の若者が米国を短期訪問しました。ほとんどの参加者にとって、それが初めての米国訪問でした。また本法人は、米国人が東北地方をはじめとする日本各地を訪問するプログラムも導入しました。TOMODACHIプログラムに参加した多くの若者が、人生の転機となる経験をしたと語っています。このような有意義な国際交流により、参加者は多様でユニークな絆を結ぶことができ、プログラムで学んだことは、若者たちに新たな興味と内なる自信を喚起することができました。同様に、2014年度には、特に海外への渡航経験のない若い生徒を対象とした、スポーツ、音楽、芸術分野における文化活動を通して米国人と日本人に双方の言語や文化を紹介しました。最後に、本法人は、より一層グローバルな視野と、より強い日米間の絆を育む、革新的なリーダーシッププログラムを新たに始めました。さらに本法人は、財界、議会、NGO法人その他の日米関係において利益を共有する人々との関与を始め、減災リスク分野における東北大学とハワイ大学の戦略的パートナーシップの推進といった、日米の人と人との交流に関する分野での活動も行いました。

本法人は、プログラムと活動の企画、実施、支援の他に、持続可能な組織基盤のさらなる強化を図りました。公益財団法人の資格を取得して2年が経過し、本法人は日本の非営利団体として法的要件を満たす経営、方針、統治に関する厳格な基準を維持し、2度目の外部監査を完了しました。また本法人は、プログラム選考過程の妥当性と透明性を一層強化し、プログラム調査とプログラム評価手順を新たに導入しました。また2014年においては、開発および寄付者とのコミュニケーションを強化するために渉外担当ディレクターを採用しました。最後に、本法人の組織としての成長を助長するためにアドミニストレイティブアシスタントの採用も行いました。

2014年度は、国際的コンサルタント企業であるマッキンゼー&カンパニーによって、本法人が執行する最大のプロジェクトである TOMODACHI イニシアチブに対する戦略の見直しを、3か月間にわたって無償で受けることが出来ました。この結果は2014年9月に TOMODACHI 寄付者と支援者によって共有され、TOMODACHI イニシアチブプログラムによる日米の異文

化リーダーシップ開発に対するコミットメントを継続するためのビジョンが明確に示されました。

また理事会役員の尽力により、人事、給与支給、税務、設備、法務等の面で現物寄付を得ることができ、経理と会計報告準備に関する非常勤の業務支援は会計事務所に依頼しました。在京スタッフは、本法人の目的を達成するうえで、さらに広範なりソースを活用するために、在日米国大使館を筆頭とする種々のパートナーとは緊密な協力を継続しています。

I. OVERVIEW

As the U.S.-Japan Council (Japan), *Koeki Zaidan Hojin Beinichi Kaunshiru Japan*” in Japanese (herein “Foundation”) completes its third business year of operations, it has achieved many of its key charitable objectives through an active and dynamic set of programs, further developed its people-to-people network in Japan, and continued to build a sustainable organizational foundation.

Through activities organized and overseen by the Foundation, supported by the implementing assistance of collaborating partners, hundreds of young people participated in short-term visits to the United States, most for the first time. The Foundation also administered programs that brought Americans to Japan, including to the Tohoku region and elsewhere in the country. These young TOMODACHI participants found their experiences to be transformative and life-changing. Meaningful international contact created multiple unique bonds between participants, and program content sparked new interests and confidence within these young people. Similarly, a number of cultural activities over 2014 used sports, music and arts as a gateway to introduce foreign language and culture to Americans and Japanese, especially for younger students who may not yet have a chance to experience life abroad. Finally, the Foundation initiated new, innovative leadership programs, fostering a more global outlook and more connections between the United States and Japan. The Foundation has also worked in other areas of U.S.-Japan people-to-people exchange, including engagement with business leaders, legislative leaders, NGO leaders, and others with a shared interest in U.S.-Japan relations, as well as promoting the strategic partnership between Tohoku University and the University of Hawaii in the area of Disaster Risk Reduction.

In addition to development, implementation, and support to programs and activities, the Foundation has further strengthened its development of a sustainable organizational foundation. In its second full year as a *koeki zaidan hojin*, the Foundation has maintained the strong administrative, policy, and governance standards consistent with Japanese non-profit legal requirements, and completed its second external audit. The Foundation has also further increased the accountability and transparency of its program selection process, and has instituted new program surveys and program assessment processes. The Foundation hired a Director, External Affairs, in 2014 to assist with development and donor relations. Finally, the Foundation has also hired an Administrative Assistant to ensure the smooth operations of the growing organization.

In 2014, the Foundation benefited from the support of the global consulting firm, McKinsey & Company, which conducted a three-month pro-bono strategic review of the Foundation’s largest project,

the TOMODACHI Initiative. The results of this review were shared with key TOMODACHI donors and supporters in September 2014, laying out a vision for the sustained commitment to U.S.-Japan cross-cultural leadership development through TOMODACHI Initiative programs. Board Members have helped bring on in-kind technical support for personnel, payroll, taxes, facility, legal and other aspects of the business, and the Foundation has retained part-time services from an accounting firm to assist with bookkeeping and financial report preparations. Also, the Foundation's staff in Tokyo continues to work closely with other partners, most importantly the U.S. Embassy in Tokyo, to leverage broader resources to achieve the purpose of the Foundation.

II. 目的

本法人は、日米関係にとって最も重要な側面である、あらゆる世代の日米の人と人とのつながりを推進し、教育、文化、経済における絆を強化して日米両国の長期にわたる友好関係を深めることを目的としています。

本法人の中核事業は、在日米国大使館との協力のもと、教育プログラム、スポーツ、音楽、芸術分野における文化交流プログラム、リーダーシッププログラムの3種類のプログラムを通して日米の次世代を育成する官民パートナーシップ、TOMODACHI イニシアチブ (TOMODACHI イニシアチブまたは TOMODACHI) の運営をすることです。

事業運営の3年目となる2014年度の目標は、引き続き、将来有望な若者に日米の人と人をつなぐプログラムに参加する機会を提供することです。プログラム参加者募集の情報は、ウェブサイトその他、ニュースレター、フェイスブック、ツイッターで公示されます。こうしたプログラム体験を通じて、参加者同士の個人的なつながりが生まれ、お互いの相違点を理解できるグローバルな視野を培うことが可能となり、お互いの国に対する関心を高めることができます。

本年度は、本報告書に記載した通り、本法人が選考し助成した活動を運営管理しました。また TOMODACHI イニシアチブの中には、ワシントンDCを拠点とする米国非課税団体 U.S.-Japan Council (U.S.)を通じて助成された活動もあり、その場合には、U.S.-Japan Council (U.S.)の支援を受けています。これらの活動は、寄付者を対象とした TOMODACHI 年次報告書に記載されます (2015年に別途発行予定)。

II. PURPOSE

The purpose of the Foundation is to promote people-to-people ties between Americans and Japanese of all generations as a crucial aspect of the U.S.-Japan relationship, as well as to strengthen educational, cultural, and economic ties and deepen the long-term friendship between the United States and Japan.

The Foundation's core business is to manage the TOMODACHI Initiative (the "TOMODACHI Initiative" or "TOMODACHI"), a public-private partnership with the U.S. Embassy in Tokyo that nurtures the next generation of Japanese and Americans through three types of programs: educational programs; cultural exchange programs in sports, music and the arts; and leadership programs.

The goal during the 2014 calendar year, the third year of operation, remained to provide promising young people with opportunities to participate in programs that connect Americans with Japanese. We recruit for our programs on our web site and also push out materials to recruit via our newsletter, Facebook page, and Twitter account. Our participants gain experiences that enhance personal connections among participants, cultivate global perspectives enabling participants to understand each other's differences, and generate interest in each other's countries.

This year, the Foundation managed and administered selection of the activities described in this report, which were funded through the Foundation. The TOMODACHI Initiative also receives support from the U.S.-Japan Council (U.S.) based in Washington, D.C., for activities funded through the separate tax-exempt U.S. entity. These activities will be further described in the TOMODACHI Annual Report (to be published separately in 2015).

III. 事業

A. 慈善事業 - TOMODACHI 教育プログラム

教育プログラムは、お互いの国での実際体験で日米の若者を向上させ、意欲を喚起することを目指します。2014年度における短期プログラムは、米国で学びたいという熱意にあふれる優秀な日本人学生が大学および大学院で教育を受けられる、少数ながら大きな影響力を持つプログラムが追加されました。TOMODACHI イニシアチブは、広範囲にわたる様々なプログラムを通して、日米の若者に研究および交流の機会を提供し、それによって日米関係全般を強化することを目指しています。以下のプログラムは、本法人が支援した2014年度のTOMODACHI活動です。

1. TOMODACHI デル・ノルテ高校 2014 陸前高田交流プログラム

プログラム実施期間：2014年2月15日－23日

実施支援団体：デル・ノルテ高校

プログラムの概要：カリフォルニア州クレスセントシティから派遣されたデル・ノルテ高校の生徒6名と、その地域のコミュニティーリーダー6名は、このプログラムを通じて、津波の被害を受けた岩手県陸前高田市を訪問しました。一行は陸前高田市長と達増岩手県知事と面談し、2日間かけて高田高校の生徒と交流し、前年にカリフォルニア州クレスセントシティの海岸に打ち上げられていた漁船をまたこの地で見る事ができました。この漁船は3月11日の津波に吞まれて8000キロ以上も漂流していました。カリフォルニア州クレスセントシティの生徒たちが海岸でこの船を見つけ、きれいに清掃して陸前高田に送り返すため尽力してくれました。その1年後には、本法人の支援により派遣団が日本を訪れ、クレスセントシティと陸前高田の地元高校の間で交流が始まり、長期間続くことが期待されています。またデル・ノルテ高校の生徒たちはクレスセントシティへ戻る前に東京で1日を過ごし、キャロライン・ケネディ駐日米国大使と外務省関係者と対面する機会を得ました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/del-norte-delegation/>

2. ハワイ・レインボーキッズ・プロジェクト 2014

プログラム実施期間：2014年7月10日－16日

実施支援団体：ハワイ日米協会

プログラムの概要：今年で3年目を迎える本プログラムでは、ハワイの中学生8名が東北地方を訪れ、現地の中学生と文化的な集中体験を通じて交流を深めました。プログラムはアウトドア活動と自然と親しむことに重点が置かれ、日米の中学生たちは協力して現地の海岸清掃を行ったり、フラダンスを習ったりしました。この訪問では、2か国のグループが東北地方の復興と双方の豊かな文化を共有するという同じミッションのもとで団結するユニークな機会を提供しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/japan-america-society-of-hawaii-rainbow-for-japan-kids-2/>

3. 南カリフォルニア・福島 ユース文化交流プログラム

プログラム実施期間：2014年7月19日－30日

実施支援団体：全米日米協会連合 (NAJAS)

プログラムの概要：本プログラムは、全米日米協会連合の下で実施される2年間のプログラムで、福島の中高生8名にカリフォルニア州ロサンゼルスで文化交流に参加できる貴重な機会を提供しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/south-california-fukushima-youth-cultural-exchange-program/>

4. TOMODACHI 米日ユース交流プログラム 2014

プログラム実施期間：2014年7月19日－8月1日、2014年11月1日－15日

実施支援団体：アメリカン・カウンスルズ・フォー・インターナショナル・エデュケーション(ACIE)

プログラムの概要：本プログラムでは、日本とアメリカの高校生各6名が2週間の交流プログラムと地域の奉仕活動プロジェクトに参加しました。参加者たちは、互いの国で社会起業や社会奉仕の活動などを通じて学び、文化的意識と感受性を培うことができました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-u-s-japan-youth-exchange-program/>

5. TOMODACHI MUFU 国際交流プログラム 2014

プログラム実施期間：2014年7月24日－8月7日

実施支援団体：社団法人日本国際生活体験協会 (EIL)

プログラムの概要：東日本大震災被災地の岩手、宮城、福島県から選抜された26名の高校生がカリフォルニアで実施された2週間のプログラムに参加しました。期間中には英

語やリーダーシップ技能を学び、地域の奉仕活動ではボランティアとしてに参加しました。さらに研究プログラム、ホームステイ、社会活動や観光、アメリカの文化や価値観に触れるなど、アメリカの人々とより深い交流を体験しました

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-mufg-international-exchange-program/>

6. 2014TOMODACHI セントルイス・石巻友情プログラム

プログラム実施期間：2014年7月28日－8月5日

実施支援団体：全米日米協会連合 (NAJAS)

プログラムの概要：NAJAS（全米日米協会連合）とセントルイス日米協会は、助成金を用いて2013年と2014年の2年間にわたるプログラムを実施しました。

2013年には石巻から5名の中高生と、5名の大人（石巻から2名、東京から3名）を1週間セントルイスに派遣しました。2014年はセントルイスから7名の中高生を石巻に派遣しました。プログラムでは5日間の石巻滞在と、仙台での2日間のホームステイが実施されました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/st-louis-tohoku-grassroots-exchange-program/>

7. TOMODACHI サマー2014 英語研修プログラム

プログラム実施期間：2014年7月28日－8月24日

実施支援団体：AFS U.S.A

プログラムの概要：以前 TOMODACHI プログラムに参加した5名が、メリーランド州サンディ・スプリングにあるサンディ・スプリング・フレンズ校 (SSFS) で行なわれた4週間の英語集中レッスンと文化交流プログラムに参加しました。期間中にはワシントンDCへの訪問、大学の寮での滞在など、世界各国の仲間たちと共に様々な活動に参加しました。また世界各国の生徒たちと異文化集中プログラムに参加しました。ESLの他、アメリカの歴史や公民などのカリキュラムで行われました。

<http://usjapantomodachi.org/2014/03/11125/>

8. TOMOCACHI 住友商事奨学生

プログラム実施期間：2014年8月1日－2015年6月30日

実施支援団体：スタディ・アブロード・ファンデーション

プログラムの概要：本奨学金は、経済的支援を必要とする優秀な学生が1年間の外国留学を実現するために設けられました。住友商事奨学金は、日米の懸け橋となって活躍することが期待されるグローバルな視野をもった若いリーダーを支援することを目指します。2014年には3人の奨学生が支援を受けました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-sumitomo-corporation-scholarship-fund/>

9. 米国バーモント州キャリア・文化体験プログラム 2014

プログラム実施期間：2014年8月8日－20日

実施支援団体：US ジャパン・テクニカル・コネクションズ

プログラムの概要：九州、福岡県の大野城市国際交流協会から6名の生徒たちが12日間のプログラムに参加するためにアメリカバーモント州に派遣されました。このプログラムは、地元のビジネスでの就業体験、文化活動、歴史習得、自然体験及び9日間のホームステイに重点を置いて実施されました。プログラムの主眼は就業体験で、生徒たちは実践的活動に参加しました。文化活動の一環として、バーモント・インスティテュート・オブ・ナチュラサイエンス、ビリングス・ファーム・ミュージアム、ティップトップ・ポッターリーを訪れました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/u-s-japan-technical-education-study-program/>

10. TOMODACHI 東北スカラシップ H-LAB 2014

プログラム実施期間：2014年8月15日－23日

実施支援団体：H-LAB

プログラムの概要：4名の東北出身の高校生が TOMODACHI スカラズ H-LAB 2014 に参加しました。H-LAB 2014 は160名の高校生を迎えて、東京、長野県小布施市、徳島県牟岐町の3カ所で行われました。この9日間の教育プログラムは、米国のハーバード大学などで実施されているアメリカ式のリベラルアーツ教育を高校生が体験できる機会を提供するものです。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/h-lab/>

11. TOMODACHI シアトルー福島草の根交流プログラム

プログラム実施期間：2014年9月8日－16日

実施支援団体：ワシントン州日米協会 (JASSW)

プログラムの概要：福島大学から8名の学生がシアトルに派遣され、ワシントン州日米協会の実施する、アメリカの小学生と高校生を対象とした日本について学ぶジャパン・イン・スクールのプログラムに協力しました。また学生たちはスペース・ニードルを見学したり、シアトルマリナーズの招待客としてマリナーズの試合を観戦したりと、楽しい時を過ごしました。スターバックス社とマイクロソフト社主催の会社訪問において、学生たちは通常見られない会社の内部を垣間見ることが出来ました。

<http://usjapantomodachi.org/2014/09/13226/>

12. ボランティア・ビジター・プログラムー「米日関係におけるリーダーの次世代の構築：教育者の役割」

プログラム実施期間：2014年11月12日－22日

実施支援団体：米国大使館広報室

プログラムの概要：本プログラムは、日本の学生がアメリカに留学するための準備に必要なアメリカの教育システムや、アクセス可能な主要リソース、ネットワーク、ベスト

プラクティスなどの情報を提供するものです。対象者は、国際交流に関心を持つ学生にアドバイスする教師、日本の中高で教師を指導・助言する立場にある教官、あるいは日本の学校における国際化イニシアチブを策定する教育者や政府関係者などです。本法人は参加者に航空券を支給し、政府が助成するプログラムを活用できるように便宜を図りました。

13. TOMODACHI Honda文化交流プログラム

プログラム実施期間：2014年12月25日－2015年1月8日

実施支援団体：日本国際生活体験協会（EIL）

プログラムの概要：3年間のプログラムの1年目が実施され、宮城県から20名の高校生が、2014年12月25日から翌年1月8日までカリフォルニア州ロサンゼルスに派遣されました。

期間中、参加者は全米日系人博物館の見学、元日のローズパレードへの参加、アメリカン・ホンダモーター社の会社訪問などを通じて現地の高校生と交流し、ホームステイを経験しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-honda-cultural-exchange-program/>

14. TOMODACHI UNIQLOフェローシップ

プログラム実施期間：通年

実施支援団体：スタンフォード大学ビジネススクール、パーソンズ・ニュー・スクール・フォー・デザイン、ファッション工科大学

プログラムの概要：本プログラムは、日本の次世代を担うビジネスおよびファッション界のリーダーに、世界の最高水準の教育の機会を提供するものです。2014年は、4名の学生が奨学金を授与され、アメリカでもトップレベルのスタンフォード大学ビジネススクール、ファッション工科大学（FIT）、パーソンズ・ニュー・スクール・フォー・デザインの3大学院で学びました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-uniqlo-fellowship/>

15. 2014 - 2015ブリッジング・スカラーシップ

プログラム実施期間：2014年－2015年

実施支援団体：日米交流財団（UAJBF）

プログラムの概要：TOMODACHIイニシアチブは、2014 - 2015日米交流財団（UAJBF）スカラーシップ・プログラムを支援するために、日本に留学する10名に奨学金を支給しました。TOMODACHIブリッジング奨学生の10名は、2014－2015年度に日本の様々な地域で勉強します。奨学生の専攻は、日本研究あるいは国際問題、機械工学、文化人類学、中等教育など、多岐にわたっています。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/bridging-scholarship/>

III. ACTIVITIES

A. CHARITABLE ACTIVITY - TOMODACHI Educational Programs

Educational programs serve to enrich and inspire young Japanese and Americans through exposure to each other's countries. This year, short-term programs were supplemented by a small number of high-impact investments in undergraduate and graduate education for top Japanese students aspiring to study in the United States. Through a broad set of programs, the TOMODACHI Initiative aims to engage young Japanese and Americans through academic and exchange opportunities and thereby strengthen overall U.S.-Japan relations. TOMODACHI activities supported by the Foundation during 2014 include the following programs.

1. **TOMODACHI - Del Norte 2014 Delegation to Rikuzentakata**
Program Period: February 15-23, 2014
Implementer: Del Norte High School

Program Overview: A delegation from the town of Crescent City, California, consisting of six Del Norte high school students and six local community leaders, visited tsunami-affected Rikuzentakata, Iwate Prefecture on this program. They met the Mayor of Takata City, Rikuzentakata, and Governor Tasso of Iwate Prefecture, and spent two days at Takata High School, where they met the students and saw a fishing boat that a year ago had washed up on the shores of their hometown in California. This boat had traveled over 5,000 miles after the 3/11 tsunami took it to sea. When the Californian students found it on their beach, they cleaned it, and arranged to have it sent back to Rikuzentakata. A year later, we were able to support the delegation to travel to Japan to begin a relationship between the local high schools in Crescent City and Rikuzentakata that they hope will last for the long-term. The Del Norte students also spent a day in Tokyo to brief U.S. Ambassador Caroline Kennedy and the Ministry of Foreign Affairs before returning to Crescent City.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/del-norte-delegation/>

2. **TOMODACHI Rainbow for Japan Kids Program 2014**
Program Period: July 10-16, 2014
Implementer: Japan America Society of Hawaii

Program Overview: This program, which is now in its third year, gave eight middle school students from Hawaii the opportunity to visit the Tohoku region and participate in cultural immersion activities while engaging with their Japanese counterparts. With an emphasis on outdoor activity and interaction with nature, the program allowed both the American and Japanese students to collaborate while undertaking activities such as cleaning local beaches and practicing hula. The trip was a unique chance for the two groups to unite under the same mission to revitalize Tohoku and share their rich cultures.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/japan-america-society-of-hawaii-rainbow-for-japan-kids-2/>

3. **South California Fukushima Youth Cultural Exchanges Program**
Program Period: July 19-30, 2014
Implementer: National Association of Japan-America Societies (NAJAS)

Program Overview: This program, implemented under the National Association of Japan America Societies, was able to create a two-year program that provided the opportunity of a lifetime to eight middle school and high school students from Fukushima to participate in a cultural exchange program in Los Angeles, California.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/south-california-fukushima-youth-cultural-exchange-program/>

4. **US-Japan Youth Exchange Program 2014**

Program Period: July 19-Aug 1, 2014; November 1-15, 2014

Implementer: American Councils for International Education (ACIE)

Program Overview: This program supported six American and six Japanese high school students to participate in a two-week exchange program and community service project. Students gained cultural awareness and sensitivity through social entrepreneurship and service learning in the respective countries.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-u-s-japan-youth-exchange-program/>

5. **TOMODACHI MUFG International Exchange Program**

Program Period: July 24–August 7, 2014

Implementer: The Japanese Association of the Experiment in International Living (EIL)

Program Overview: Twenty-six students from the disaster-affected areas of Iwate, Miyagi and Fukushima prefectures were selected to participate in a two-week program in California. During the program, the students had an opportunity to study English, learn leadership skills, and volunteer for community service projects. The program featured extensive contact with Americans through academic programs, homestays, social and sightseeing activities, and exposure to American culture and values.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-mufg-international-exchange-program/>

6. **St. Louis Ishinomaki Grassroots Exchange Program**

Program Period: July 25-Aug 5, 2014

Implementer: National Association of Japan-America Societies (NAJAS)

Program Overview: NAJAS and the Japan America Society of St. Louis were awarded a two year TOMODACHI grant for 2013 and 2014. In 2013 we invited five middle and high school students from Ishinomaki and five adults (two from Ishinomaki and three from Tokyo) to St. Louis for one week. In 2014, we took seven middle and high school students from St. Louis to Ishinomaki. The program consisted of a five-day visit to Ishinomaki and a two-day homestay in Sendai.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/st-louis-tohoku-grassroots-exchange-program/>

7. **AFS Language and Culture Program 2014**

Program Period: July 28-Aug 24, 2014

Implementer: AFS U.S.A.

Program Overview: Five TOMODACHI alumni participated in this four-week intensive English language learning and cultural exchange that took place in Sandy Spring Friends School (SSFS) in Sandy Springs, Maryland. During the program, students visited Washington DC, resided in a

college dorm and participated in program activities alongside a cohort of international peers. Students participated in a cross-cultural immersion program with international students. The curriculum included ESL as well as U.S. history and civics classes.

<http://usjapantomodachi.org/2014/03/11125/>

8. **TOMODACHI Sumitomo Corporation Scholars Fund**
Program Period: August 1, 2014 – June 30, 2015
Implementer: Study Abroad Foundation

Program Overview: This Fund provided assistance to high-achieving university students with financial need to enable them to study abroad for one year. Sumitomo Corporation's support was aimed at helping to develop globally-minded young leaders who would serve as active bridges between Japan and the United States. In 2014, this program supported three scholarship recipients.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-sumitomo-corporation-scholarship-fund/>

9. **2014 Career and Cultural Study Program in Vermont**
Program Period: August 8-20, 2014
Implementer: US Japan Technical Connections

Program Overview: Six students from the Onojo City International Exchange Association, located in Kyushu, visited Vermont, U.S.A. for a twelve-day study program. The program focused on career work experience within local businesses, cultural activities, history and nature, and a nine-day host family stay. The major component of the program, career work experiences, placed students in hands-on learning activities. The cultural activities included a trip to the Vermont Institute of Natural Science, Billings Farm Museum, and Tip Top Pottery.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/u-s-japan-technical-education-study-program/>

10. **TOMODACHI Tohoku Scholarship for H-LAB 2014**
Program Period: August 15-23, 2014
Implementer: H-LAB

Program Overview: Four Tohoku high school students participated as TOMODACHI Scholars in H-LAB 2014. H-LAB 2014 consisted of 160 high school students and was held across three locations in Japan — Tokyo, Obuse City in Nagano prefecture, and Mugi City in Tokushima prefecture. This inspiring nine-day educational program provided Japanese high school students an opportunity to engage in an American style liberal arts education, taught by Harvard University and other American university students.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/h-lab/>

11. **TOMODACHI Seattle-Fukushima Grassroots Exchange Program**
Program Period: September 8-16, 2014
Implementer: Japan-America Society of the State of Washington (JASSW)

Program Overview: Eight Fukushima University students traveled to Seattle to help educate American elementary and high school students about Japan as part of JASSW's Japan-in-the-Schools program. The students visited the Space Needle and enjoyed a Mariners game as guests of the Seattle Mariners. Corporate visits hosted by Starbucks and Microsoft provided the

students with an insider's look at these iconic companies that few outsiders get to see.
<http://usjapantomodachi.org/2014/09/13226/>

12. **Voluntary Visitor Program: "Building the Next Generation of Leaders for the U.S.-Japan Relationship: The Role of Educators"**
Program Period: November 12-22, 2014
Implementer: U.S. Embassy Public Affairs Section

Program Overview: This program was designed to educate participants about the U.S. educational system and key resources, networks, and best practices available to help prepare Japanese students for study in the United States. The program targets teachers who act as advisors to students interested in international exchange, or teacher trainers, who counsel and advise teachers in Japanese middle and high schools, and educators and government officials who shape internationalization initiatives in Japan's schools. The Foundation provided in-kind flights to the participants of this program, giving the participants access to the U.S. government-funded program.

13. **TOMODACHI Honda Cultural Exchange Program**
Program Period: December 25, 2014 - Jan 8, 2015
Implementer: The Japanese Association of the Experiment in International Living (EIL)

Program Overview: Marking the first year of the three year program, twenty high school students from Miyagi prefecture were selected to visit the Los Angeles area in California from December 25, 2014 to January 8, 2015. During the program, the participants visited the Japanese-American National Museum, participated in the Rose Bowl Parade on New Year's Day, visited American Honda Motor Co., Inc., met with American high school students, and experienced an American homestay.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-honda-cultural-exchange-program/>

14. **TOMODACHI UNIQLO Fellowship**
Program Period: All Year Round
Implementer: Stanford Graduate School of Business, Fashion Institute of Technology and Parsons The New School for Design

Program Overview: The program offers a world-class educational experience to Japan's next generation of business and fashion leaders. In 2014, four students received scholarships to pursue graduate studies at three top-level U.S. educational institutions; Stanford Graduate School of Business, Fashion Institute of Technology, (FIT), and Parsons The New School for Design.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-uniqlo-fellowship/>

15. **TOMODACHI Bridging Scholars**
Program Period: 2014-2015
Implementer: The US-Japan Bridging Foundation

Program Overview: To support the 2014-2015 United States-Japan Bridging Foundation (USJBF) Scholarship program, the TOMODACHI Initiative provided ten Scholars with stipends to make their study abroad experience in Japan more financially-feasible. The Scholars will be studying in various areas of Japan for the 2014-2015 academic year. The Scholars represent a variety of majors including Japanese or international studies, mechanical engineering,

anthropology and secondary education.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/bridging-scholarship/>

B. 慈善事業—TOMODACHI 文化交流プログラム

文化交流プログラムは、日米両国の若者が互いの国について学び、また互いの国に対する関心を長く持続させるための契機を提供します。さらに TOMODACHI は既存の文化交流プログラムと協力し、東北地方をはじめ日本各地に新たなプログラムを導入し、新規の革新的な活動を支援しました。TOMODACHI イニシアチブの下で、本法人が資金を提供した文化交流プログラムは以下の通りです。

1. TOMODACHI オルフェウス室内管弦楽団 2014 日本ツアー研修会

プログラム実施期間：2014年2月5日

実施支援団体：オルフェウス室内管弦楽団、秀光中等教育学校

プログラムの概要：仙台の東京エレクトロンホール宮城で開催されたオルフェウス室内管弦楽団のコンサートに、2011年3月11日の東日本大震災で被災した宮城県多賀城市の秀光中等教育学校の生徒35名が、TOMODACHI の支援によって参加しました。公演に先立ち団員と生徒たちは合流し、生徒は、団員のコラボレーションの過程や、彼等の成功やチャレンジについての感じ方、またオルフェウスモデルと他のモデルとの違いについて尋ねる機会を得ました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/orpheus-chamber-orchestra/>

2. TOMODACHI 「音楽の力」プログラム

プログラム実施期間：2014年3月10日

実施支援団体：東京フィルハーモニー交響楽団

プログラムの概要：2014年3月10日、TOMODACHI 「音楽の力」ヤングミュージシャンズ・プログラムを通じて、東京フィルハーモニー交響楽団の団員6名が、ニューヨークシティのスペシャル・ミュージック・スクールを訪問しました。本プログラムでは、公立高校としてはニューヨークに1校しかない、優れた音楽的才能を有する子供を対象とする、スペシャル・ミュージック・スクールの生徒たちのパフォーマンスや、東京フィルの指揮者、大植英次氏の日本と西洋の音楽の類似点と相違点についてのプレゼンテーション、続いて東京フィルのメンバーによるフルートと打楽器によるメロディー、リズム、音の違いのデモンストレーションが行われました。

<http://usjapantomodachi.org/2014/03/11257/>

3. TOMODACHI ノースウエスタン高校ダンス交流プログラム

プログラム実施期間：2014年6月14日—23日

実施支援団体：ノースウエスタン高校

プログラムの概要：メリーランド州ハイヤッツヴィルのノースウエスタン高校の学生舞踊団「イントレピッド・ダンスカンパニー」の団員6名が、福岡県の若葉高校でダンス交流プログラムに参加しました。滞在中団員たちは、若葉高校生に交じって授業を受けたり、地域の名所旧跡見物をしたり、地域活動に参加したりと、実際に日本文化を体験しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/tomodachi-northwestern-high-school-dance-exchange-program/>

4. TOMODACHIダラス・仙台ヤングアンバサダーズプログラム

プログラム実施期間：2014年6月30日－7月7日

実施支援団体：全米日米協会連合（NAJAS）、ダラス・フォートワース日米協会（JASDFW）

プログラムの概要：ダラスから派遣された9名のTOMODACHIダラス・仙台ヤングアンバサダーズプログラム参加者は、仙台を中心とする地域で行われた1週間の交流プログラムを通じて、前年にダラスを訪れた日本のプログラム参加者と再会しました。ダラス市と仙台市は1997年以来の国際友好都市ですが、本プログラムが実施されるまでは、相互に学生や市民を派遣して友好的な交流を果たす機会は殆どありませんでした。

<http://usjapantomodachi.org/2014/07/12471/>

5. サンディエゴ/ティファナ・大船渡青少年野球交流プログラム

プログラム実施期間：2014年7月31日－8月9日

実施支援団体：全米日米協会連合（NAJAS）

プログラムの概要：本プログラムでは、サンディエゴから10名の中学生野球選手を大船渡へ派遣し、前年大船渡からアメリカへ派遣された日本人選手たちとの交流が実現しました。両国の選手たちはホームステイや練習を一緒に行い、ボビー・バレンタイン自身も参加して大船渡市で開催されたボビー・バレンタイン・アカデミー主催のトーナメント戦を頂点として、その最後を飾りました。一行は陸前高田の奇跡の一本松を訪れ、綾里中学校で東日本大震災の話聞き、新たな防波堤の建設が進む大船渡の海岸地域を訪れました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/san-diegotijuana-ofunato-youth-baseball-exchange/>

6. TOMODACHI 松江－ニューオーリンズ交流プログラム

プログラム実施期間：2014年8月2日－11日

実施支援団体：ニューオーリンズ日本協会（JASNO）

プログラムの概要：島根県松江市から8名の参加者が、姉妹都市であるルイジアナ州ニューオーリンズを訪れました。交流のテーマは、ジャズの歴史とジャズ誕生の地であるアメリカ南部について学ぶことです。ニューオーリンズと松江は、日本とニューオーリン

ズに関する著作で有名な19世紀の作家、ラフカディオ・ハーンがきっかけとなって姉妹都市になりました。参加者はハーンの旧宅やトゥーレーン大学に保管されているハーンの蔵書を見学するなど、様々な文化的な活動を行いました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-matsue-new-orleans-exchange-program/>

7. ヤングアメリカンズ東北ツアー

プログラム実施期間：2014年9月11日－11月21日

実施支援団体：じぶん未来クラブ

プログラムの概要：ヤングアメリカンズ・プログラムは、じぶん未来クラブが日本で実施し、ヤングアメリカンズが指導を行う2か月間にわたる長期シリーズの踊りと歌のワークショップで、東北地方の福島、宮城、岩手県の小、中、高校で開催されました。ヤングアメリカンズは、体験型ワークショップを通じてアメリカの音楽とダンスの前向きな精神を共有し、生徒や教師、家族をインスパイアすることを目指して日本を訪れました。各ワークショップは2日間開催されました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/young-americans/>

8. TOMODACHIゴールドマンサックス・ヤングアメリカンズ・ミニワークショップツアー2014

プログラム実施期間：2014年9月11日－11月21日

実施支援団体：じぶん未来クラブ

プログラムの概要：本プログラムは、日本でじぶん未来クラブが実施、ヤングアメリカンが指導する短時間のミニワークショップツアーで、2か月間にわたり福島、宮城、岩手県で行われました。小規模の学校を対象として3時間の（上記の2日間のワークショップに対して）ワークショップを行いました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/tomodachi-goldman-sachs-roadshow/>

9. TOMODACHI普代村神楽代表団・イン・2014草の根サミット・イン・サンディエゴ

プログラム実施期間：2014年9月23日－30日

実施支援団体：財団法人ジョン万次郎ホイトフィールド記念国際草の根交流センター（CIE）

プログラムの概要：日米草の根サミットは、1991年から日本とアメリカで交互に開催する年に1度の大規模なイベントで、日米両国の市民が友好を深めることで日米の関係を強化することを目指しています。2014年は、サンディエゴで開催されるサミットに、TOMODACHIの支援プログラムを通じて普代村の中学生を派遣し、オープニング式典で伝統神楽を披露することができました。普代村は、岩手県北部の人里離れた小さな村で、神道の神様に奉納される神楽と呼ばれる伝統的な舞と音楽が村人によって伝えられてい

ます。本プログラムによって普代村の中学生は、数多くのアメリカ人と普代村の文化を分かち合うことができました。さらにサンディエゴ地域でホームステイや、文化/教育活動にも参加しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/tomodachi-fudai-kagura-performers-program-2014/>

10. 福島県広野町中学校合唱団・イン・2014草の根サミット・イン・サンディエゴ

プログラム実施期間：2014年9月23日－30日

実施支援団体：財団法人ジョン万次郎ホイツフィールド記念国際草の根交流センター (CIE)

プログラムの概要：日米草の根サミットは、1991年から日本とアメリカで交互に開催している年に1度の大規模なイベントで、日米両国の市民が友好を深めることで日米の関係を強化することを目指しています。福島県広野町の生徒たちは、オープニング式典で合唱を披露し、サンディエゴ地域でホームステイや、文化/教育活動に参加しました。

<http://usjapantomodachi.org/2014/10/13429/>

11. TOMODACHIサントリー音楽奨学金

プログラム実施期間：2014年通年

実施支援団体：ジュリアード学院、バークレー音楽大学

プログラムの概要：本年度から始まった本プログラムは、若い日本人音楽家が米国の有名音楽学校で学べる機会を提供します。2014年は3名に奨学金が授与されました。2014年秋から、2名の奨学生がボストンのバークレー音楽大学で学部課程を、もう1名はニューヨークのジュリアード学院で学びました。今後は、上記2校の他に、サンフランシスコ音楽院への留学も可能となります。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/suntory-music-scholarship/>

B. CHARITABLE ACTIVITY – TOMODACHI Cultural Programs

Cultural programs provide gateways for Japanese and Americans to learn about and to develop enduring interest in each other's countries. TOMODACHI collaborated with existing cultural exchange programs, bringing new programs to Tohoku and other regions of Japan, and also supported some new and innovative activities. Cultural programs within the TOMODACHI Initiative that the Foundation funded included the following.

1. Orpheus Chamber Orchestra Japan 2014 Tour Educational Engagement Program

Program Period: February 5, 2014

Implementers: Orpheus Chamber Orchestra & Shukoh Middle School

Program Overview: Members of the Orpheus Chamber Orchestra performed at Tokyo Electron Hall Miyagi in Sendai where 35 students and teachers from Shukoh Middle School in Miyagi prefecture, which was devastated by the events of March 11th 2011, were in attendance

supported by TOMODACHI. Prior to the show, some members of the orchestra met with the students who asked about collaborative process, their perceptions of the process' successes and challenges, and the differences between the Orpheus model and other team experiences.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/orpheus-chamber-orchestra/>

2. **TOMODACHI "The Power of Music" Program**

Program Period: March 10, 2014

Implementer: Tokyo Philharmonic Orchestra

Program Overview: Six members of the Tokyo Philharmonic Orchestra visited the Special Music School in New York City on March 10, 2014 for TOMODACHI “The Power of Music” young musicians’ engagement program. The program included selected performances by the students of the Special Music School, New York City’s only public school for musically-gifted children, a presentation by the conductor of the Tokyo Philharmonic, Eiji Oue, about differences and similarities between Western and Japanese music followed by flute and percussion demonstrations by Tokyo Phil members illustrating melody, rhythm and sound differences.

<http://usjapantomodachi.org/2014/03/11257/>

3. **TOMODACHI Northwestern High School Dance Exchange Program**

Program Period: June 14-23, 2014

Implementer: Northwestern High School

Program Overview: Six members of the *Intrepid Dance Company*, the resident student-based dance company at Northwestern High School in Hyattsville, MD, took part in a Dance Exchange with Wakaba High School located in Fukuoka, Japan. While in Japan, the dancers were fully immersed in Japanese culture, taking part in activities such as attending classes at Wakaba with their Japanese peers, exploring Japanese culture through excursions to regional historical sites, and taking part in outreach community activities.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/tomodachi-northwestern-high-school-dance-exchange-program/>

4. **Dallas Sendai Young Ambassador’s Program**

Program Period: July 30-July 7, 2014

Implementer: National Association of Japan-America Societies (NAJAS); Japan-America Society of Dallas/Fort Worth (JASDFW)

Program Overview: TOMODACHI Dallas-Sendai Young Ambassadors Program brought nine participants from the Dallas area to partake in a one-week exchange program in and around Sendai and reconnect with their Japanese counterparts who had traveled to Dallas the year before. The City of Dallas and the City of Sendai have been International Friendship Cities since 1997, but they had only an occasional opportunity to send their students and citizens to each other’s cities to engage in a proper exchange of friendship until this program was implemented.

<http://usjapantomodachi.org/2014/07/12471/>

5. **San Diego Ofunato Youth Baseball Exchange Program**

Program Period: July 31 - August 9, 2014

Implementer: National Association of Japan-America Societies (NAJAS)

Program Overview: This program brought ten middle school baseball players from San Diego to Ofunato to meet with their Japanese counterparts who came to the States last year. Together, they took part in homestays and training sessions that culminated in tournament hosted in Ofunato City by the Bobby Valentine Sports Academy, with Bobby Valentine himself. The group also visited Rikuzentakata to pay respects to the Miracle Pine, heard about 3.11 from their Japanese counterparts at Ryori Middle School, and toured Ofunato Bay to see the construction of the new seawall.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/san-diegotijuana-ofunato-youth-baseball-exchange/>

6. **TOMODACHI Matsue-New Orleans Exchange Program**

Program Period: August 2-11, 2014

Implementer: Japan America Society of New Orleans (JASNO)

Program Overview: Eight participants from Matsue, Shimane prefecture visited the sister-city of New Orleans, Louisiana. The theme of the exchange was to learn the history of jazz and the American South at the birthplace of jazz. Lafcadio Hearn, a 19th century writer who was famous for his writings about Japan and New Orleans, was the primary reason that New Orleans and Matsue became sister cities. The participants visited the writer's former residence and his archives stored at Tulane University in addition to participating in other cultural activities.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/tomodachi-matsue-new-orleans-exchange-program/>

7. **Young Americans Tohoku Tour**

Program Period: September 11-November 21, 2014

Implementer: Jibun Mirai Club

Program Overview: The Young Americans Program, implemented in Japan by the Jibun Mirai Club, consisted of a two-month long series of dancing and singing workshops led by the Young Americans that took place in elementary, middle, and high schools in Fukushima, Miyagi, and Iwate prefectures in Tohoku. Young Americans came to Japan to inspire students, teachers, and families through hands-on workshops that share positive spirit of American music and dance. Each workshop lasted two days.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/young-americans/>

8. **TOMODACHI Goldman Sachs Young Americans Mini Workshop Tour 2014 Program**

Period: September 11-November 21, 2014

Implementer: Jibun Mirai Club

Program Overview: This program, implemented in Japan by the Jibun Mirai Club, was a series of short dancing and singing workshops led by the Young Americans that took place in elementary, middle, and high schools in Fukushima, Miyagi, and Iwate prefectures over the course of two months. The mini workshop tours targeted smaller schools were conducted over the course of three-hour workshops (as opposed to the two-day workshops, mentioned above).

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/tomodachi-goldman-sachs-roadshow/>

9. **TOMODACHI Fudai Kagura Performers in 2014 Grassroots Summit in San Diego**

Program Period: September 23-30, 2014

Implementer: Center for International Exchange (CIE)

Program Overview: The Japan-America Grassroots Summit is an annual large-scale meeting of Japanese and American citizens, held alternately in Japan and America since 1991, which seeks to strengthen bilateral relations by fostering friendships between people of both countries. This year, TOMODACHI sponsored a program to bring students from Fudai-mura to attend the Summit in San Diego and perform their traditional dance at the opening ceremony. Fudai-mura is a small, remote village in Northern Iwate Prefecture whose citizens practice a unique traditional Kagura, or dance and music dedicated to the Shinto Gods. Through this program they were able to share their culture with a large number of Americans. The students also participated in homestays and cultural/educational activities in the San Diego region.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/tomodachi-fudai-kagura-performers-program-2014/>

10. **Hirono-machi Student Chorus Group in 2014 Grassroots Summit in San Diego**

Program Period: September 23-30, 2014

Implementer: Council on International Exchange (CIE)

Program Overview: The Japan-America Grassroots Summit is an annual large-scale meeting of Japanese and American citizens, held alternately in Japan and America since 1991, which seeks to strengthen bilateral relations by fostering friendships between people of both countries. Students from Hirono-machi, Fukushima prefecture, performed their chorus at the opening ceremony and participated in homestays and cultural/educational activities in the San Diego region.

<http://usjapantomodachi.org/2014/10/13429/>

11. **TOMODACHI Suntory Music Scholarship Fund**

Program Period: All Year Round 2014

Implementers: Juilliard School and Berklee College of Music

Program Overview: This program, begun this year, creates opportunities for young Japanese musicians to study at well-known music schools in the United States. In 2014, three scholarships were awarded. In the fall of 2014, two scholarship recipients started their undergraduate study at the Berklee College of Music in Boston, and one began her scholarship at the Juilliard School in New York City. In the future, scholarship recipients may also choose study at the San Francisco Conservatory of Music in addition to the two above-mentioned schools.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/cultural-programs/suntory-music-scholarship/>

C. 慈善事業—TOMODACHI リーダーシッププログラム

TOMODACHI は、次世代を担う若きリーダーを成功へ導き、自らの地域社会、母国そして世界全体に改善をもたらす技能と専門技術を習得するために役立つプログラムを推進します。2014 年は、若い専門家のためのフェローシップならびにリーダーシッププログラムと、過去に実施した本プログラムの参加者（アラムナイ）を対象としたリーダーシップ育成活動が実施されました。以下は、本法人が支援したプログラムです。

- 1. TOMODACHI 世代の構築—日米の学生による社会問題解決のためのパートナーシップ**
プログラム実施期間：2014年2月15日—3月1日
実施支援団体：ワシントンセンター、日米研究インスティテュート（USJI）
プログラムの概要：本プログラムでは、2週間の市民参加プログラムに、日本有数の大学から16名の大学生がワシントンDC派遣されました。この16名にアメリカ人大学生12名が加わって、市民社会の概念、課題、可能性についての理解を深めるリーダーシップカリキュラムに取り組みました。2週間のプログラムの最後には日米の学生によるグループごとに東北地方の復興促進に関するアイデアを発表しました。優勝したチームの日米の参加者は、2014年8月に日本で再会し、アメリカからの参加者は東北地方を訪れました。
<http://usjapantomodachi.org/2013/09/8713/>
- 2. TOMODACHIイノベーションズ・イン・シビック・パーティシペーション・カレッジイト・シビック・エンゲージメント・プログラム**
実施期間：2014年2月20日—22日、2015年7月10日、7月12日、7月15日
実施支援団体：イノベーション・イン・シビック・パーティシペーション（ICP）
プログラムの概要：プログラムは3段階に分かれており、第1段階は市民参加と社会起業分野の専門家である教員/管理者がアメリカから来日し、日本側の担当者と交流してパートナーシップを構築し、プロジェクトゴールの精度を高めました。第2段階では日本の大学生3名と、3大学から6名の教員/管理者が渡米してブラウン大学で開催されたアショカカンファレンスに出席しました。第3段階では、4名（3名のアメリカ大学関係者とICPスタッフ1名）と日本側が、それまでに培ったパートナーシップを活用して、東北、東京、沖縄の各地で開催された3件の学生のための社会起業カンファレンス開催のために協力しました。
<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-innovations-in-civic-participation-icp-collegiate-civic-engagement-program/>
- 3. ソーシャルイノベーション・イン・シアトル（SIIS）TOMODACHI スカラーズ**
プログラム実施期間：2014年3月3日—29日
実施支援団体：iLEAP
プログラムの概要：本プログラムでは、24人の才能のある日本人大学生と若手専門家を、4週間の革新的なリーダーシップ開発プログラムに参加するためワシントン州シアトルへ派遣しました。プログラムの目的は、参加者たちのアメリカ文化（特に日系アメリカ人の文化）への理解を深め、英語力を大幅に向上させ、社会事業とイノベーションの実務経験を積み、リーダーシップ能力を向上させる一助となることです。
<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-social-innovation-in-seattlesiis-scholars-program/>

4. SCORE (TOMODACHI スコア・スタディツアー)

プログラム実施期間：2014年3月5日ー17日

実施支援団体：那覇アメリカ総領事館

プログラムの概要：沖縄で行われたサイエンス・フェア (SCORE!) の優勝者3名が、2014年3月、カリフォルニア州のサンディエゴ、ロサンゼルス、サンタバーバラ、シリコンバレーそしてサンフランシスコを訪問しました。起業のための科学研究に重点を置いた本プログラム期間中に、大学、バイオ関連企業、研究機関、科学博物館の見学や、現地の大学生、高校生、科学者らと交流する様々なプログラムに参加しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-score-study-tour/>

5. TOMODACHI ビヨンドトゥモロー グローバル・リーダーシップ・アカデミー2014

プログラム実施期間：2014年3月7日ー9日

実施支援団体：ビヨンドトゥモロー

プログラムの概要：本プログラムは、東京で開催された3日間のプログラムで、2013年夏に、様々な TOMODACHI プログラムのもとで渡米した東北地方の TOMODACHI 世代の高校生が再会を果たす機会を提供しました。本プログラムはグローバルな展望に立ち、世界中で援助を必要とする人々に共感できる未来のリーダーを育成することを目指して実施されました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-summer-2012-beyond-tomorrow-u-s-program-reconstruction-and-planning/>

6. TOMODACHI ジャパンソサエティージュニア・フェロー学生交流プログラム

プログラム実施期間：2014年3月15日ー4月4日（日本から米国へ）2014年7月1日ー24日（米国から日本へ）

実施支援団体：ニューヨーク・ジャパンソサエティ

プログラムの概要：本相互交換プログラムでは、才能ある日米の高校生を少人数グループ（日米各10名）ごとに3週間日本とアメリカに派遣し、集中的学習体験を提供しました。学校と家庭における実践的な体験に加えて、個人がそれぞれの国で自主的な研究プロジェクトを行うことで異文化、研究、プレゼンテーションスキルを向上させることを目指しました。このプログラムは、日本にとって、よりグローバルな自覚を持つ将来のリーダーを多数育成することができ、プログラム終了後も期間中と同様の機会と支援が提供されると言う利点があります。さらに太平洋の両側で、才能あふれる10代の若者たちの持続可能なネットワークを構築することができます。本法人はすでに2015年もこの相互交換プログラムの支援を約束しています。

<http://usjapantomodachi.org/2014/04/11569/>

<http://usjapantomodachi.org/2014/07/12429/>

7. TOMODACHI ソーシャルアントレプレナーシップ・プログラム

実施期間：2014年3月17日－23日

実施支援団体：東京ニュービジネス協議会

プログラムの概要：本プログラムは、University Venture Grand Prix (UVGP) 起業コンテストの受賞2チームをシリコンバレーに派遣し、大きな影響力を持つ起業家やベンチャー投資家と交流する機会を提供しました。このコンテストの目的は、起業家教育の発展と、日本における新興企業の立ち上げを促進することにあります。University Venture Grand Prix (UVGP)コンテストは経済産業省、東京ニュービジネス協議会はじめ各協賛団体により創設されました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-award-program-to-silicon-valley/>

8. TOMODACHI ジョブシャドー・チャレンジ・プログラム

プログラム実施期間：2014年3月30日－4月2日

実施支援団体：ジュニアアチーブメント

プログラムの概要：このプログラムは、東北地方に住む若者が故郷の町を復興させ、世界経済での成功を収めることができるように意欲を喚起し、その準備を手助けするものです。2013年12月、福島県いわき市の30名の中学生が3日間の東京でのワークショップに参加しました。ワークショップに参加した30名のうち、最終選考に残った10名がグアムで開催された4日間のプログラムに参加し、現地の生徒たち10名との交流活動や、フェデックス・グアムでのジョブシャドーを体験しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-job-shadow-challenge-program/>

9. TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program

プログラム実施期間：2014年6月11日、2015年4月30日

実施支援団体：ルミナラーニング、Cultural Vistas

プログラムの概要：この10か月にわたるメンターシッププログラムは、モチベーションの高い日本の女子大学生と日本の中堅・若手女性リーダーがペアを組み、次世代を担うべく女性リーダーのネットワーク作りを奨励するものです。参加者は東京米国大使館、領事館あるいは政府やビジネスリーダーが定期的に主催する活動に出席しました。またワシントンDCやニューヨークシティに派遣され、ビジネスリーダー、政府関係者、非営利団体リーダー、アメリカ人大学生と交流しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-womens-leadership-program/>

10. TOMODACHI - Mitsui & Co. リーダーシッププログラム

プログラム実施期間：2014年6月21日－28日（米国から日本）、2014年9月7日－14日（日本から米国）

実施支援団体：WLS、LLC

プログラムの概要：この相互交換プログラムは、日米の若きリーダーたちが、プロフェッショナルな結びつきを強化し、彼らが関係するビジネスや政府に関連する日米関係の重要な問題や、今日の話題に対する理解を深めることを目指します。本プログラムの独自性は、全米の各州や都市、日本では都道府県で、毎年異なった都市をターゲットとして代表を選出しているため、参加者が非常に幅広い地理的多様性を持っていることに由来しています。

<http://usjapantomodachi.org/2014/06/12173/>

<http://usjapantomodachi.org/2014/09/13309/>

11. ドラッカー日本人次世代リーダーズ (DFJL) プログラム 2014

プログラム実施期間：2014年7月27日－8月2日

実施支援団体：ドラッカー研究所

プログラムの概要：企業経営学の第一人者 Peter Drucker 氏が30年以上も教鞭を取ったクレアモント大学院のドラッカー研究所による DFJL プログラムは、1週間のユニークなマネジメント入門プログラムで、10名の TOMODACHI アラムナイの高校生が参加し、学業や仕事などを効果的に進めていく上で必要なスキルを習得し、自分たちの社会に前向きな変化をもたらすことを目指しました。従来の学校教育が知識の習得に重点を置くのに対し、DFJL プログラムでは、学んだ知識から結果を得るためにまず行動を起こす、という訓練を受けました。

<http://usjapantomodachi.org/2013/08/8680/>

12. TOMODACHI—東芝科学技術リーダーシップ・アカデミー

プログラム実施期間：2014年8月1日－7日

実施支援団体：全米科学教師協会 (NSTS)、ビーグッドカフェ

プログラムの概要：このプログラムは、1年に1度、1週間の異文化STEM（科学、技術、エンジニアリング、数学）教育交流・リーダーシッププログラムで、日米両国から16名の生徒と8名の教師が参加しました。日米の参加者は東京において、「災害に強い未来のスマートコミュニティの開発」というテーマに協力して取り組みました。生徒と教師はチームを作って、次世代科学スタンダード(NGSS)とエンジニアリングデザイン工程の中核的な学習体験を活用して、これらの問題に対する解決策を考案しました。

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-toshiba-science-technology-leadership-academy/>

C. CHARITABLE ACTIVITY – TOMODACHI Leadership Programs

TOMODACHI promotes programs that help the next generation of young leaders gain the skills and expertise necessary to guide them towards success and help them make a positive difference for their communities, for their countries, and for the entire world. This year's programs included fellowships and leadership programs for young professionals and activities to enhance leadership training for past program alumni. Programs supported by the Foundation include the below programs.

1. **Building the TOMODACHI Generation: A Partnership to Engage U.S. and Japanese University Students in Social Problem Solving**
Program Period: February 15- March 1, 2014
Implementer: The Washington Center & U.S.-Japan Research Institute (USJI)

Program Overview: This two-week civic engagement program took sixteen Japanese college students from top universities in Japan to Washington, DC. These Japanese students joined twelve American peers for a robust leadership-based curriculum that enhanced students' understanding of the principles, challenges and potential of civil society. At the end of the two-week program, the American and Japanese students divided into groups to present their ideas for recovery of the Tohoku region. Then, later in 2014, the Japanese and American participants of the winning teams were reunited in Japan, and the Americans had the opportunity to visit Tohoku.
<http://usjapantomodachi.org/2013/09/8713/>

2. **TOMODACHI Innovations in Civic Participation Collegiate Civic Engagement Program**
Program Period: February 20-22, 2014; July 10, 2015; July 12, 2015; July 15, 2015
Implementer: Innovation in Civic Participation (ICP)

Program Overview: The program included three phases. In phase one, expert U.S. faculty/administrators in the field of civic engagement and social entrepreneurship traveled to Japan to meet Japanese counterparts, develop partnerships, and refined project goals. In phase two, three Japanese university students and six Japanese faculty/administrators from three universities traveled to the United States for the Ashoka University Exchange, hosted at Brown University. In phase three, four people (3 US university personnel and 1 ICP staff) worked with Japanese counterparts to offer three social entrepreneurship conferences for students: One in Tohoku, one in Tokyo, and one in Okinawa, leveraging the partnerships developed in earlier parts of the program.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-innovations-in-civic-participation-icp-collegiate-civic-engagement-program/>

3. **Social Innovation in Seattle (SIIS) TOMODACHI Scholars**
Program Period: March 3-29, 2014
Implementer: iLEAP

Program Overview: This program brought twenty-four talented Japanese university students and young professionals from Japan to Seattle, Washington for an innovative four-week leadership development program. The goals of the program were to help develop a deeper connection to American culture (especially Japanese-American culture), significantly improve their English, gain practical experience in social enterprise and innovation, and grow their leadership capacities.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-social-innovation-in-seattlesiis-scholars-program/>

4. **SCORE**

Program Period: March 5-17, 2014

Implementer: Consulate General of the United States Naha Japan

Program Overview: A three-member winning team of the SCORE! science fair competition in Okinawa traveled to San Diego, Los Angeles, Santa Barbara, Silicon Valley, and San Francisco in California in March 2014. During this science and entrepreneurship-focused program, the students visited universities, biotech related companies, research intuitions, and science museums, and took part in a variety of exchange programs with university students, local high school students, and scientists.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-score-study-tour/>

5. **TOMODACHI BEYOND Tomorrow Global Leadership Academy**

Program Period: March 7-9, 2014

Implementer: BEYOND Tomorrow

Program Overview: This three-day program in Tokyo provided an opportunity to reconnect the TOMODACHI generation of Tohoku high school students who had travelled to the U.S. through various TOMODACHI programs in the summer of 2013. The program aimed to develop future leaders with a global outlook and a strong sense of compassion for those in need around the world.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-summer-2012-beyond-tomorrow-u-s-program-reconstruction-and-planning/>

6. **TOMODACHI Japan Society Junior Fellows Program**

Program Period: March 15- April 4, 2014 (Japan to U.S.); July 1-24, 2014 (U.S. to Japan)

Implementer: Japan Society of New York

Program Overview: This two-way exchange program offered a small group of talented Japanese and American high school students (10 students each) a three-week immersive learning experience in Japan and the United States. In addition to providing participants with an opportunity to experience first-hand school and family life, independent work on self-directed research projects in country also aided the development of cross-cultural, academic and presentation skills. The program benefits Japan by helping to develop a more globally aware cohort of future leaders, and providing them support and opportunities both during and after the exchange program to promote their success. It also fosters development of a sustainable network of highly talented teens on both sides of the Pacific. The Foundation has already made the commitment to support this two-way program again in 2015.

<http://usjapantomodachi.org/2014/04/11569/>

<http://usjapantomodachi.org/2014/07/12429/>

7. **TOMODACHI Entrepreneurship Award Program**

Program Period: March 17-23, 2014

Implementer: New Business Conference

Program Overview: This program provided the opportunity to two winning teams from the University Venture Grand Prix (UVGP) entrepreneurship contest, to go to Silicon Valley and meet with influential entrepreneurs and venture capitalists. The aim of this competition was to improve entrepreneurial education and encourage more excellent startups in Japan. The UVGP Contest was established by the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI), The Tokyo New Business Conference and other collaborators.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-award-program-to-silicon-valley/>

8. **TOMODACHI Job Shadow Challenge Program**

Program Period: March 30-April 2, 2014

Implementer: Junior Achievement

Program Overview: This program aimed to inspire and to prepare young people living in the Tohoku area to redevelop their hometown and succeed in a global economy. In December 2013, thirty junior high school students from Iwaki City, Fukushima participated in a three-day workshop in Tokyo. Out of the thirty students in the workshop, ten finalists were selected for this four-day program in Guam to participate in exchange activities and a job shadow at FedEx Guam with ten local students from Guam.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-job-shadow-challenge-program/>

9. **TOMODACHI MetLife Women’s Leadership Program**

Program Period: June 11, 2014 – April 30, 2015

Implementers: Lumina Learning; Cultural Vistas

Program Overview: This ten-month mentorship program paired highly-motivated Japanese female university students with Japanese female mid-career professionals to encourage networking among a select corps of Japanese women who show promise as Japan’s next generation of leaders. Participants attended regular group sessions hosted by the U.S. Embassy, consulates and government and business leaders. The participants traveled to Washington D.C. and New York City to meet business leaders, government officials, nonprofit leaders and American university students.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-womens-leadership-program/>

10. **TOMODACHI - Mitsui & Co. Leadership Program**

Program Period: June 21 – 28, 2014 (U.S. to Japan); September 7-14, 2014 (Japan to U.S.)

Implementer: WLS, LLC

Program Overview: This reciprocal program for young professionals from Japan and the United States was designed to enhance career connections and an understanding of key issues and current topics in U.S.-Japan relations as they relate to business and government. What makes this program unique is that participants represent broad geographic diversity through different target cities each year in various Japan cities and states throughout the United States and in various prefectures throughout Japan.

<http://usjapantomodachi.org/2014/06/12173/>

<http://usjapantomodachi.org/2014/09/13309/>

11. **Drucker for Future Japanese Leaders (DFJL) Program 2014**

Program Period: July 27-August 2, 2014

Implementer: Drucker Institute

Program Overview: Presented by the Drucker Institute at Claremont Graduate University, where the leading business mind, Peter Drucker, taught for over 30 years, DFJL was a unique, one-week Introduction to Management program that empowered 10 Japanese high school TOMODACHI alumni to be more effective in their own pursuits and to bring about positive change in their communities. Whereas often traditional schooling is focused on knowledge acquisition, DFJL trained students to put that knowledge into action to achieve results.

<http://usjapantomodachi.org/2013/08/8680/>

12. **TOMODACHI Toshiba Science & Technology Leadership Program**

Program Period: August 1-7, 2014

Implementer: National Science Teachers Association, BeGood Café

Program Overview: This program is an annual one-week, cross-cultural Science Technology Engineering and Math (STEM) exchange and leadership program for sixteen high school students and eight teachers from Japan and the United States. The program participants from both countries worked together in Tokyo to develop a disaster-resilient, smart community of the future. The students and teachers worked in teams to develop proposed solutions to these problems using learning experiences that are central to Next Generation Science Standards (NGSS) and the engineering design process.

<http://usjapantomodachi.org/programs-activities/entrepreneurship-leadership/tomodachi-toshiba-science-technology-leadership-academy/>

D. **慈善事業—ネットワーク—キング/一般教育活動**

本法人は、TOMODACHI 事業以外に、日米関係の主要分野における絆を強化するため、ネットワーク構築に向け、更には将来の一般教育活動に向け、以下の主な活動に取り組みました。

1. **R3ADY アジア太平洋（旧アジア太平洋防災・ネットワーク—APDR3）**：本法人は、このマルチセクター・ネットワークへ継続的に関与しています。2014年9月に、ニューヨークで行われ、日本の安倍昭恵首相夫人が基調講演を行った、海岸地域の災害からの回復力に関する R3ADY セミナーにも参加しました。2014年10月、R3ADY は、米日カウンシルの年次総会に参加した際、日米のマルチセクターリーダーによる懇談会ならびに会議を催し、日本からは JICA、東北大学、日本のビジネス界、NGO 団体の代表らが出席しました。本法人は、宮城県仙台市で開催される 2015 UNISDAR（国連防災国際会議 2015）に、R3ADY を通じて参加します。UNISDAR では、前回の懇談会で発議された提案が発表されます。

2. ネットワーキング活動：本法人は2014年から活動を継続し、本法人の理事あるいは評議員として、日本の国会議員及び経済界のリーダー、NPO団体のリーダー、選ばれた知事や都道府県のリーダーらとネットワーキングを構築するための様々な機会を活かし、米日カウンシルのメンバーと日本の主力リーダーならびにそれぞれのネットワーク間で協議すべき課題や今後の一般教育の必要性について確認しました。

本法人における主なネットワーキング活動として、新たにビジネス諮問委員会（BAB）が設置され、第1回目の会合が2014年11月12日に開かれました。この委員会は、ビジネスセクターと米日カウンシルの結びつきを一層強化することが目的で、米日カウンシルのリーダーで、かつ功績のあるエグゼクティブリーダーが指揮を執ります。ビジネス諮問委員会は日米で経営幹部として職務経験を有するメンバーで構成されます。

D. CHARITABLE ACTIVITY – Networking/General Education

In addition to TOMODACHI activities, the Foundation engages in select other networking activities and related general education activities to build ties between Americans and Japanese in key areas of the relationship.

1. R3ADY Asia Pacific (formerly Asia Pacific Disaster Risk Reduction & Resiliency Network – APDR3) – The Foundation continued to be involved in this multi –sector Network. In September 2014, the Foundation participated in a R3ADY seminar on coastal resiliency in New York which featured a keynote speech by Japan’s First Lady Mrs. Akie Abe. In October 2014, R3ADY participated in the U.S.-Japan Council’s Annual Conference by organizing a Roundtable and a Conference session with multi- sector leaders from the U.S. and Japan. Participants from Japan included JICA officials, Tohoku University officials and representatives from the Japanese business and ngo sectors. The Foundation through R3ADY will participate in the 2015 UNISDR (United Nations International Strategy for Disaster Risk Reduction) Conference to be held in Sendai, Japan. Recommendations from the Roundtable will be presented at the UNISDR Conference.
2. Networking Activities: The Foundation has continued its activities from 2014, we have engaged in many networking opportunities, as members of the Foundation’s Boards of Directors and Councilors joined various networking meetings with Japanese legislators, business leaders, NPO leaders, and select Governors and prefectural leaders to identify key areas for collaboration and general education activities between the U.S.-Japan Council members and key leaders in Japan, as well as their respective networks.

In other notable events regarding network activities within the Foundation, a new Business Advisory Board (BAB) was created and held its first meeting on November 12th 2014. It was formed in order to create further ties with the business sector and the U.S.-Japan Council, it is led by successful executive leaders who are also leaders of the U.S.-Japan Council. Members of the BAB are executives who have worked in the U.S. and in Japan.

IV. 統治

本法人は引き続き定款に則り評議員会および理事会を運営します。

IV. GOVERNANCE

The Foundation's Board of Councilors and Board of Directors continues to operate in compliance with the Foundation's Articles of Incorporation.

A. 役員 BOARD MEMBERS

理事会

Board of Directors

アーネスト・エム・比嘉

Ernest M. Higa

執行理事、代表理事 Executive Director, Representative Director

アイリーン・ヒラノ・イノウエ

Irene Hirano Inouye

執行理事、副理事長 Executive Director, Vice President

デービッド・ニシダ

David Nishida

執行理事、専務理事 Executive Director, Senior Director

ラッセル・ケイ・川原

Russell K. Kawahara

ジェイムズ・ミナモト

James Minamoto

ウィリアム・ジーザス・アイアトン

William Jesus Ireton

監事 Auditor

新城孝悦

Takayoshi Shinjo

評議会

Board of Councilors

ポール与那嶺

Paul Yonamine

ローヤン・ドイ

Royanne Doi

ダニエル・藤井

Daniel Fujii

キャシー・松井・コール

Kathy Matsui Koll

スコット佐藤

Scott Sato

B. 2014年度役員会

1. 1.23.14—書面による全員一致の同意をもって理事会招集。主な議事は、2014年度の「資金調達および設備投資の見込み」（内閣府令で定められた書類）の承認。
2. 3.12.14—代表理事により（定足数を満たし）理事会招集。主な議事は2013年度の事業報告、2013年度の財務計算書（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表注釈、財務諸表の附属明細書）ならびにTOMODACHI新規プログラムの承認。
3. 3.27.14—書面による全員一致の同意をもって評議員通常総会執行。主な議事は、2013年度の事業報告、2013年度の財務計算書（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表注釈、財務諸表の附属明細書）の承認ならびに新理事の選出。
4. 3.27.14—書面による全員一致の同意をもって理事会を執行。主な議事は、代表理事、執行理事、副理事長、専務理事、常務理事の任命。
5. 9.12.14—代表理事により（定足数を満たし）理事会を招集。主な議事は、中間財務報告、銀行口座新規開設、TOMODACHI新規プログラムの承認。
6. 12.11.14—代表理事により（定足数を満たし）理事会を招集。主な議事は、2015年度事業計画、2015年度収支予算案、外部監査人の選考と監査スケジュール作成、銀行口座開設とクレジットカード新規取得、2015年度の「資金調達および設備投資の見込み」（内閣府令で定められた書類）の承認。その他TOMODACHI新規プログラムならびに次回評議員総会の開催日時、会場の承認。中間財務報告書の検討。
7. 12.17.14—書面による全員一致の同意で理事会を執行。主な議事は、TOMODACHI新規プログラムの承認。

B. BOARD MEETINGS IN 2014

1. January 23, 2014 – Board of Directors meeting convened by means of a unanimous written consent. The primary business was to approve Forecast of Loan and Capital Investment for 2014 Fiscal Year (a financial form required to be filed with the Cabinet Office).
2. March 12, 2014 – Board of Directors meeting convened by the Representative Director (quorum met). Primary business was to approve 2013 Business Report, 2013 Financial Statements (Balance Sheet, Net Asset Gain & Loss Calculation Sheet, List of Properties, Annotations to

Financial Statements, and Supporting Details to Financial Statements) and new TOMODACHI programs.

3. March 27, 2014 - Board of Councilors meeting convened its ordinary general meeting by means of a unanimous written consent. The primary business was to approve 2013 Business Report, 2013 Financial Statements (Balance Sheet, Net Asset Gain & Loss Calculation Sheet, List of Properties, Annotations to Financial Statements, and Supporting Details to Financial Statements) and to elect a new slate of Directors.
4. March 27, 2014 - Board of Directors conducted business by means of a unanimous written consent. The primary business was to appoint Representative Director, Executive Directors, Vice President, Senior Director and Managing Director.
5. September 12, 2014 - Board of Directors meeting convened by the Representative Director (quorum met). The primary business was to approve an interim financial report, opening of a savings account and new TOMODACHI programs.
6. December 11, 2014 – Board of Directors meeting convened by the Representative Director (quorum met). The primary business was to approve 2015 Business Plan and 2015 Budget Plan and selection of an external audit firm and audit schedule, opening of new bank account and credit cards, 2015 Forecast of Loan and Capital Investment a financial form required to be filed with the Cabinet Office. Also the Board approved new TOMODACHI programs and the date, time and location of the next General Meeting of the Board of Councilors. An interim financial report was presented for a discussion.
7. December 17, 2014 - Board of Directors conducted business by means of a unanimous written consent. The primary business was to approve new TOMODACHI programs.

C. 組織に関する最新情報

当法人は、2014年度の事業計画書に基づき、組織の管理、財務、運営ならびにネットワーク/パートナーシップ活動が円滑に進められるよう、職務遂行能力の強化と運営手順の設定に重点を置きました。

本法人は、主要な2つのパートナーである、U.S.-Japan Council (U.S.) の職員ならびに東京の在日米国大使館と協力して業務を遂行しています。在日米国大使館首脳部ならびに大使館員には、TOMODACHIイニシアチブに多大なる支援をいただきました。

2012年以来、本法人は、U.S.-Japan Council (U.S.)とのサービス契約を締結しており、当契約が本法人の円滑な運営の基盤となっています。USJC(U.S.)は、事務管理、人事サービス、プログラム支援を提供し、その代価を受け取っています。USJC(U.S.)に採

用され、TOMODACHIを担当する職員は、東京、ワシントンDC、ロサンゼルスならびにサンフランシスコを拠点としています。

東京におけるUSJC(U.S.) TOMODACHIスタッフチームは、事務局長ローラ・アボットの指揮の下で、マーケティング&コミュニケーションズコーディネーターのアンドレア・ミラー、ウィメンズリーダーシップ・プログラム・コーディネーターのアマンダ・チェザーレッド、プログラムデベロップメントコンサルタントのアレクシア・ダルコらのパートタイムUSJCスタッフがサポートしています。この東京チームを支えるのが、本法人スタッフ6名で、プログラムマネージャーの宇多田カオル、マーケティングスペシャリストの森本加奈子、プログラムマネージャーの堀田満代、アラムナイマネージャーの長尾純子、アドミニストレイティブアシスタント、加藤ひろみ、そして渉外担当ディレクター、安永修章で、宇多田カオルと森本加奈子以外の4人は2014年に採用されました。

米国のUSJC(U.S.)では、アイリーン・ヒラノ・イノウエ（プレジデント）、スザン・バサラ（エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼COO）、ラー・リー・タン（財務及び事務管理ディレクター）、野々山浩代（日米プログラム・ディレクター）、ミヤ・フィッシャー（プログラムマネージャー）がTOMODACHI業務に従事しています。

当法人は、武田薬品工業株式会社から、3年連続で当組織のインフラ（人事・事業費）開発のための寄附金をいただき、TOMODACHIイニシアチブの支援に充当させていただきました。2014年末には組織運営面における支援を、さらに2021年まで継続する旨の合意をいただきました。日本GE株式会社からは、引き続き赤坂のオフィススペースを無料で当法人にご提供いただき、在日米国大使館内オフィスと共に事務所として利用させていただきました。

C. ORGANIZATIONAL UPDATE

Consistent with the 2014 Business Plan, the Foundation has focused on building capacity and institutionalizing operating procedures to ensure smooth functioning of the organization's management, finances, operations, and networking/partnerships.

The Foundation implements its work with two key partners, the employees of the U.S.-Japan Council (U.S.), as well as the U.S. Embassy in Tokyo. The U.S. Embassy leadership and staff contribute significant time to support the TOMODACHI Initiative.

In 2012, the Foundation developed a Services Agreement with the U.S.-Japan Council (U.S.), and this agreement remains the basis for smooth operations of the Foundation. U.S.-Japan Council

(U.S.) provides administration, personnel services, and programmatic support and is reimbursed for its services. Staff employed by the U.S.-Japan Council (U.S.) to work on TOMODACHI are based in Tokyo, Washington, D.C., Los Angeles, and San Francisco.

In Tokyo, the U.S.-Japan Council (U.S.) TOMODACHI staff team is led by Executive Director, Laura Abbot, supported by part time U.S.-Japan Council staff, including: Marketing & Communications Coordinator, Andrea Miller; Women's Leadership Program Coordinator, Amanda Chehrezad, and Program Development Consultant, Alexia D'Arco. This Tokyo team is strengthened by six of the Foundation's staff, the last four listed here were hired in 2014. This staff includes Program Manager, Kaoru Utada; Marketing Specialist, Kanako Morimoto; Program Manager, Michiyo Horita; Alumni Manager, Junko Nagao; Administrative Assistant, Hiromi Kato; and Director, External Affairs, Nobu Yasunaga.

In the United States, the U.S.-Japan Council (US)'s staff team working on TOMODACHI include: Irene Hirano Inouye (President), Suzanne Basalla (Executive Vice President & COO), Ler Lee Tan (Director of Finance & Administration), Hiroyo Nonoyama (Director, U.S. and Japan Programs), and Mya Fisher (Program Manager).

The Foundation has benefitted greatly from the support by Takeda Pharmaceutical Company Limited, which has provided its direct support over three years to the TOMODACHI Initiative by contributing directly to organizational infrastructure (staff and operational costs). In late 2014, Takeda also agreed to renew its operational support to the Foundation through 2021. GE Japan has also continued to offer pro bono use of office space in Akasaka, Japan, which supplements the staff's activities housed within the U.S. Embassy in Tokyo.

D. 会計

公益財団法人米日カウンシル—ジャパン (USJC(J))

収支内訳表

会計年度：2014年（2014年12月31日まで）

（円建て）

2014 会計年度 予算と収支		
収入	予算(円)	実績(円)
企業と個人寄付金収入- TOMODACHI	¥349,000,000	¥485,950,902
企業と個人寄付金収入- 一般教育プログラム	1,000,000	4,276,450
特定資産受取利息増減額	50,000	80,719
収入合計	350,050,000	¥490,308,071
経常費用		
支払助成金委託費	¥253,350,000	¥367,325,630
プログラム実行経費	72,484,950	134,028,538
経常費用合計	325,834,950	501,354,168
当期指定正味財産増減額	24,215,050	(11,046,097)
指定正味財産期首残高		¥657,065,000
指定正味財産期末残高		¥646,018,903

2014年度、当基金は TOMODACHI イニシアチブを支持するため、相当な額の寄附金を募りました。上記のとおり、2014年度の寄附金の合計は485,950,902円でした。同合計額の99パーセントは企業からの寄附金で占められています。

TOMOSACHI活動以外に、当基金は日米関係の主な分野における両国の絆を継続して強化するため、合計¥4,276,450の寄附金を費やし、一般教育プログラムやネットワーク活動にも従事しました。

2014年度におけるTOMODACHI支出額の合計は¥410,145,106で、寄附金合計額の84%を占めています。残りの寄附金は2015年度から2017年度のTOMODACHIプログラムに充当されます。TOMODACHIプログラムの幾つかは数年に渡り執行されます。

上記の合計支出額には、TOMODACHI プログラム等の活動を支援する米国の非営利団体、米日カウンシル（米国）との委託契約で発生した委託料金も含まれます。

以下は米日カウンシル—ジャパンの2013年12月31日付の貸借対照表です。

2014年12月31日付の貸借対照表		
財産		実績 (円)
現金—一般資金		¥69,743,595
基本財産預金		3,000,000
未収還付金		213,342
一般教育交流基金		1,976,444
TOMODACHI 交流基金 - 特定基金		640,684,719
固定資産		144,398
財産合計		¥715,762,498
負債		
流動負債		
未払金		¥1,454,399
未払費用 - ユーエス・ジャパン・カウンシル (US)		68,289,196
、		69,743,595
正味財産		
正味財産合計		¥646,018,903
負債及び正味財産合計		
		¥715,762,498

D. ACCOUNTING

The U.S.-Japan Council (Japan)
Financial Results
For The Fiscal Year Ended December 31, 2014
(In Yen)

2014 Fiscal Year Budget and Results		
Income	Budget (Yen)	Actual (Yen)
Corporate and Individual Contribution – TOMODACHI	¥349,000,000	¥485,950,902
Corporate and Individual Contribution – General Education	1,000,000	4,276,450
Interest Income	50,000	80,719
Total Income	¥350,050,000	¥490,308,071
Expenses	Budget (Yen)	Actual (Yen)
Program Implementation Expenses	¥253,350,000	¥367,325,630
Program Support Expenses	72,484,950	134,028,538
Total Program and Program Support Expenditure	325,834,950	501,354,168
Total Net Assets, before Other Gain/Loss	24,215,050	(11,046,097)
Beginning Net Specific Assets		¥657,065,000
Total Ending Net Specific Assets		¥646,018,903

In 2014, U.S.-Japan Council (Japan), raised significant funding to support the TOMODACHI Initiative. As illustrated above, total funds raised in 2014 was ¥485,950,902. Approximately 99% of the contributions raised were comprised of corporate contributions.

In addition to TOMODACHI activities, the Foundation engages in other General Education and networking activities to continue to build ties between Americans and Japanese in key areas of the relationship, with total funding in the amount of ¥4,276,450 in 2014.

Total TOMODACHI program expenses incurred in 2014 was ¥410,145,106, representing 84% of the total contribution. The remaining of contributions raised will be used towards 2015 – 2017 TOMODACHI programs. Several of the TOMODACHI programs are multi-year programs.

Included in the total expenses above was contracting services through a Service Agreement with U.S.-Japan Council (U.S.), a U.S. non-profit organization that also supports the TOMODACHI programs and activities.

Business Report 2014

Below is the Balance Sheet of the Foundation, as of December 31, 2014.

Asset		Actual (Yen)
Cash - General Funds		¥69,743,595
Other Assets - Equity Funds		3,000,000
Other Receivable		213,342
General Education Fund Assets		1,976,444
TOMODACHI Specific Assets		640,684,719
Fixed Assets, Net of Amortization		144,398
Total Asset		¥715,762,498
Liabilities		
Current Liabilities		
Accounts Payable		¥1,454,399
Due to USJC (US)		68,289,196
Total Current Liabilities		69,743,595
Net Assets		
Net Specific Assets		646,018,903
Total Liabilities and Net Assets		¥715,762,498

E. 寄付者

2014年度 TOMODACHI 寄付団体

アクティブ・インターナショナル・アソシエーション
アフラック・インターナショナル・インコーポレーテッド
全日本空輸株式会社
アメリカン航空
アンダーソン・毛利・友常法律事務所
渥美坂井法律事務所・外国法共同事業
CKサービス・ジャパン
社団法人 企業市民協議会 (CBCC)
大和証券株式会社
デルタ航空会社
ダウ・ケミカル日本株式会社
EVOLUTION JAPAN証券株式会社
株式会社 ファミリーマート
日本GE株式会社
ゴールドマン・サックス証券株式会社
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
Google Inc.
株式会社 日立製作所
船津秀樹 (個人)
株式会社 ホテルオークラ東京
本田技研工業株式会社
株式会社 帝国ホテル
日本航空株式会社
日本空港ビルディング株式会社
公益財団法人 公益法人協会
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
キッコーマン株式会社
有限責任 あずさ監査法人
Kurion, Inc.
京セラ株式会社
株式会社 ローソン
株式会社 ローソンHMVエンタテインメント
マッキンゼー&カンパニー

メットライフアリコ生命保険株式会社
三菱商事株式会社
株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社 みずほフィナンシャル・グループ
モリ・ホスピタリティ/アークヒルズクラブ
NOBUジャパン（松久信幸氏）
株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
株式会社 NTTドコモ
オリック・ヘリントン・アンド・サトクリフLLP
パナソニック株式会社
株式会社 パソナ
住友商事株式会社
武田薬品工業株式会社
在日米国商工会議所中部支部
株式会社 東芝
トヨタ自動車株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
トライコア株式会社
ユナイテッド航空

2014年ビジネスネットワーク/一般教育寄付者

株式会社 電通
エクソンモービル・ジャパン合同会社
株式会社 リコー
日本空港ビルディング株式会社

注：上記は2014年1月1日から同年12月31日に寄付金または現物寄付を、米日カウンシル（ジャパン）に提供した企業および団体のみを記載してあります。該当年前年の寄付情報は、2013年度の公益財団法人米日カウンシル（ジャパン）の事業報告書に記載されており、ご要望があればご提供いたします。

E. DONORS

2014 TOMODACHI Donors:

Active International Association

Aflac International, Inc.
All Nippon Airways Co., Ltd.
American Airlines, Inc.
Anderson, Mori & Tomotsune
Atsumi & Sakai
CK Service Japan
Council for Better Corporate Citizenship (CBCC)
Daiwa Securities Co., Ltd.
Delta Air Lines, Inc.
Dow Chemical Japan Limited
Evolution Japan Co., Ltd.
Family Mart Co., Ltd.
GE Japan Corporation
Goldman Sachs Japan Co., Ltd.
Goldman Sachs Asset Management Co., Ltd.
Google, Inc.
Hitachi, Ltd.
Hideki Funatsu (individual)
Hotel Okura Tokyo Co., Ltd.
Honda Motor Co., Ltd.
Imperial Hotel, Ltd.
Japan Airlines Co., Ltd.
Japan Airport Terminal, Co.
Japan Association of Charitable Organizations
Johnson & Johnson
Kikkoman Corporation
KPMG AZSA LLC
Kurion, Inc.
Kyocera Corporation
Lawson, Inc.
Lawson HMV Entertainment
McKinsey & Company
MetLife Alico Life Insurance K.K.
Mitsubishi Corporation
Mitsubishi UFJ Financial Group, Inc.
Mizuho Financial Group, Inc.
Mori Hospitality/Ark Hills Club
NOBU Japan (Mr. Nobuyuki Matsuhisa)
NTT Data Corporation
NTT Communications Corp
NTT DOCOMO, Inc.
Orrick, Herrington & Sutcliffe LLP

Panasonic Corporation
Pasona Inc.
Sumitomo Corporation
Takeda Pharmaceutical Company Limited
The American Chamber of Commerce in Japan Chubu Chapter
TOSHIBA Corporation
Toyota Motor Corporation
Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd.
Tricor K.K.
United Airlines, Inc.

2014 Business Networking/General Education Donors

Dentsu, Inc.
Exxon Mobil Japan Godo Kaisha
Ricoh Company, Ltd.
Japan Airport Terminal, Co. Ltd.

Note: The corporations and entities listed above made financial and in-kind contributions to the U.S.-Japan Council (Japan) from January 1, 2014 to December 31, 2014. Prior year contribution information is available in the 2013 U.S.-Japan Council (Japan) Koeki Zaidan Hojin Business Report upon request.

連絡先

公益財団法人 米日カウンシル—ジャパン

〒107 - 6113 東京都港区赤坂 5-2-20

赤坂パークビル 13階

TEL : 81-3-5544-4515 (代表) FAX : 81 - 3-5544-4518

URL www.usjapantomodachi.org/ja/

F. CONTACT INFORMATION

U.S.-Japan Council (Japan)
Akasaka Park Building 13F
5-2-20 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-6113
TEL 81-3-5544-4515 FAX 81-3-5544-4518
URL www.tomodachi.org